学校番号	327

令和８年度　理科（普通科）

教科	理科	科目	物理基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	物理基礎　i版（啓林館）						
副教材等	四訂版　ステップアップノート　物理基礎（啓林館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちの身の回りで起こる物理現象について、「力学」、「熱力学」、「波動」、「電磁気学」、「物理学と社会」の５分野に分けて考えていきます。
授業で取り扱う現象は、日常的に身の回りで起きているものがたくさんありますので、身の回りの現象と結びつけて、身近に感じ、興味を持って取り組んで下さい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
基本的な原理・法則を理解し、適切に解答を導くことができる。
【思考力、判断力、表現力等】
身近な出来事や課題に疑問をもって、もっと知りたいと感じ、それらに答えたいと疑問解決しようとする探究力を深める。
【学びに向かう力、人間性等】
仮説を立て、情報を収集し、課題、実験方法やまとめに至るまでの流れをまわりの生徒や先生と議論を重ね、様々な課題の解決につなげることができるようになる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	身の回りの現象や法則について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、事象を物理的に解釈したり、表現、処理したりする技能を身につける。	物理現象を理解し、論理的に考察し表現する力。事象について学習した内容と結び付け課題解決できる力。また、それを適切に表現する力。	課題や事象に対して物理的な理解を示し、学習内容を活用し粘り強く考え、判断しようとする態度。 問題解決の過程を振り返って考察を深め、仲間と共有し学習内容を定着させる態度。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	運動とエネルギー	1.運動の表し方 2.運動の法則 3.仕事と力学的エネルギー	a:物体の運動の表し方や法則について理解できている。仕事と力学的エネルギーの関係について理解できている。 b:学習した内容を関連付けて考察することができる。運動の法則や仕事と力学的エネルギーの関係を説明できる。 c:ノートや課題ﾌﾟﾘﾝﾄに取り組み、自分の考えをまとめ、表現することができる。	定期考査	定期考査	提出ノート 課題ﾌﾟﾘﾝﾄ
2学期	熱	1.熱と熱量保存の法則 2.熱力学第一法則	a:熱とエネルギーの関係や法則について理解できている。気体の熱力学における法則について理解できている。 b:　学習した内容を日常の現象に関連付けて考察することができる。法則について説明できる。 c:　ノートや課題ﾌﾟﾘﾝﾄに取り組み、自分の考えをまとめ、表現することができる。	定期考査 ト	定期考査	提出ノート 課題ﾌﾟﾘﾝﾄ
	波	1.波の性質 2.音の性質	a:波の性質を理解している。波の中でも音の性質や特徴について理解している。 b:　学習した内容を日常の現象に関連付けて考察することができる。性質や特徴について説明できる。 c:　ノートや課題ﾌﾟﾘﾝﾄに取り組み、自分の考えをまとめ、表現することができる。	定期考査	定期考査	提出ノート 課題ﾌﾟﾘﾝﾄ

3学期	電気	1.物質と電気 2.磁場と交流	a:電流や電気抵抗、電力について公式・法則を理解している。交流電源や磁場の法則や現象を理解している。 b: 学習した内容を日常の現象に関連付けて考察することができる。性質や特徴について説明できる。 c:磁場や電気の現象に関心を持ち、ノートや課題ﾌﾟﾘﾝﾄに取り組み、自分の考えをまとめ、表現することができる。	定期考査	定期考査	提出ノート 課題ﾌﾟﾘﾝﾄ
	物理学と社会	1.エネルギーの利用	a:身の回りで利用されているエネルギーについて理解している。 b: 学習した内容を日常の現象に関連付けて考察することができる。エネルギーの変換と保存について説明できる。 c:エネルギーの変換と保存について関心を持ち、ノートや課題ﾌﾟﾘﾝﾄに取り組み、自分の考えをまとめ、表現することができる。	定期考査	定期考査	提出ノート 課題ﾌﾟﾘﾝﾄ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度